書きたい気持ちを引き出す添削

作文・小論文個別指導

「聞く」「書く」「話す」で伝える力アップ 表現の4技能を伸ばす教材

2026 10月の課題

※課題は毎月25日（休日・祭日は翌日）に更新

●エンジョイ作文コース（対象：幼児～小学２年生／400字）

「好きな季節」

日本には「四季」と呼ばれる四つの季節があります。春は桜がさき、新しいことが始まる季節。夏はひまわり、セミの合唱、海や山が楽しい季節。秋は紅葉がきれいで、スポーツや読書などにぴったりの季節。冬は雪が降り、クリスマスやお正月などの楽しい行事もありますね。

あなたの好きな季節はどれか、一つ選んで教えてください。その季節にしたことを思い出したり、その季節に感じることを表現したりして、その季節を好きな気持ちが伝わるように書きましょう。

●アクティブ作文コース（対象：小学３～６年生／400字）

「こんな公園あったらいいな」

あなたがよく遊びに行く公園には、気に入っているところもあれば、もっとこうだったらいいのにと思うところもあるでしょう。あなたがあったらいいなと思う公園を、自由に考えましょう。本当には作れないかもしれない公園でもかまいません。その公園にあるものや広さ、様子、そこでどのようなことができるのかなど、くわしく想像して書いてください。作文を読んだ人がその公園に行ってみたくなるように、しょうかいしましょう。

●パッション意見文コース（対象：小学５年生～中学生／400字）

「運動能力を上げるには」

現代の子ども達の運動能力は以前に比べて下がっているという調査結果があります。スポーツ庁によると、国公私立の小学5年生と中学2年生の約180万人を対象に行われた令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果は、小中学校男女ともに前年度より得点がよくなっているものの、中学校男子をのぞいて新型コロナウイルス感染拡大以前の得点を下回っています。

もしもあなたが文部科学大臣だったら、子どもの運動能力を上げるためにどのような取り組みをしますか。あなたの体験や情報などをもとに理由を示しながら、具体例を入れて書いてください。

※文部科学大臣…文部科学省の最高責任者。「文部科学省」は、教育、科学技術、学術、スポーツ、文化の振興といった、とてもはば広い役割をになっています。（文部科学省ホームページより）

●スタート小論文コース（対象：中学生以上／600字）

「高齢運転者による事故の防止について」

高齢運転者による交通事故が問題視されるようになって以降、これまでにさまざまな取り組みが進んでいる。運転技能検査や認知機能検査の義務化など、事故を起こす可能性の高い高齢運転者に運転免許を更新させない仕組みづくりだけでなく、「サポカー」の普及活動などの技術革新によって高齢者の安全運転をサポートする取り組みにも力が入れられている。

あなたは高齢運転者による交通事故を減らすためにどのような取り組みが必要と考えるか。現在の取り組みの内容をふまえてさらに必要な取り組みは何か、理由を示してまとめよ。

調べ学習をしよう　「現代用語の基礎知識」学習版 2026-27　P. 166-167「高齢者運転免許自主返納」